

特集 政務調査費

政務調査費は一人に月額八万円です。所属会派に交付されます。昨年五月から本年三月までの交付総額は三千五百二十万円でした。期間内に支出せず返納された金

啓政会

政務調査費で実施した調査研修等について報告いたします。

● 研究研修費について
年金問題について、社会保険事務所より講師を迎え、年金の現状と離婚分割・遺族年金・障害者年金等の制度について研修いたしました。

● 調査研究費について
①今日の市政の課題の中から、環境・コミュニティ・行財政改革などを取り上げ、具体的案件として新清掃センター事業に関連するリサイクル施設

「札幌リサイクル団地」、砂川市の「地域交流センター」、旭川市では「行財政改革推進プログラム」等と、各市の議会の状況なども併せて調査してまいりました。



札幌市中沼プラスチック選別センター

② 庁舎問題の研究施設として、「岐

阜シティ・タワー43」を中心に駅前市街地再開発について調査と現地視察を実施いたしました。

③ 市制一〇〇周年を目標とする初雁公園整備基本構想の研究として、熊本城復元整備事業・駅周辺まちづくりについて、伊佐沼関連として白鳥飛来環境管理について出水市の「クレインパークいずみ」、歴史的町並保存については「出水麓伝統的建造物群保存地区」を、教育問題について鹿児島市の鹿児島島玉龍中高一貫教育開設事業について調査研究いたしました。

● 資料購入費について
地方分権・行財政・まちづくり・福祉・教育・産業等に関連する書籍の購入、新聞・会派インターネット使用料・各種情報誌等の購入をいたしました。

● 広報費について
啓政会広報紙の発行を致しました。市民の皆様からの要望などを取りまとめ、会派の活動のひとつとしておりますが、その内容について広く市民に公表し市民福祉の向上に努めています。今後とも要望等御座いましたら、地域の議員にお伝え下さい。

額は九百五十四万二千円で約二十七パーセントです。会派の支出ルールも様々で、今回は会派独自の視点で原稿をまとめました。政務調査費について市民の皆様は報告をするのは初めてです。市民生活に直結する議員活動がさらに身近になったのでしょうか。皆様のご意見もお待ちしております。

公明党議員団

公明党川越市議員団としての平成十九年度の政務調査費のご報告をさせていただきます。

主な使途目的としては、調査研究費が上げられます。今年度は三回に渡り先進都市の行政視察を行なわせて頂きました。

また、広報広聴費としては、公明党川越市議員団の議会活動などを、広く市民の方々に紹介するために、議会の「一般質問」等で取り上げ、それが行政に反映され実績として作り上げる事が出来た施策や、政策等をチラシとして作り上げ、新年の元旦の各新聞の折り込みに「議会だより」として入れさせて頂きました。

また、例年の事では有りますが、年度を通して使用させて頂き、残った金額は川越市へ返還させて頂きました。市民の方々から、お預かりをした、貴重な税金から成る「政務調査費」をこれからも使用目的を吟味しながら、市政発展に繋がる様々な調査研究のために使用させて頂きます。

公明党議員団政務調査費収支報告書

	科 目	金額 (円)
収入 (利息を含む)		6,162,748
支出	研究研修費	175,790
	調査研究費	1,044,735
	資料作成費	130,638
	資料購入費	887,279
	広報広聴費	863,587
	合 計	3,102,029
返金残高		3,060,819



視察時研修会の風景

プロジェクト川越21

中原秀久を代表に、四名で活動をしている会派です。政務調査費は支出額の多い順に、調査研究、広報広聴、資料購入、資料作成の四項目を支出しています。前年度の返戻残額は二十五万八千九百三十一円でした。議会では四つの常任委員会と十三の審議会、一つの特別委員会に所属し、その他地域活動も幅広く個性豊かに展開しています。

- ・ 議会報告を発行する(四回)
- ・ 一般質問を行う(四回)
- ・ 全員で視察を行う(三回)

これらを全員の基本活動に市政全般を見回しています。特に市政運営が公正で市民利益を最大に守れるよう、正義感の強い会派です。これまでも市職員の公金横領事件で百条委員会設置に努力し、今回は市庁舎建設特別委員会設置を推進しました。また、今年の川越市当初予算への要望も重点九項目と百六十二項目を提出し市民生活の改善に取り組んでいます。この仕事の根底を支えているのが政務調査費です。限られた紙面での報告は雑駁となります



所属の4名の議員

が、中でも議員視察で訪問する各地の体験は大変貴重なものです。最初に訪問先議会で、行政区の歴史・現状・課題などを資料に基づいて挨拶があります。次に事前通告をしている視察項目について担当職員が詳細に説明をしてくださいます。その後に質疑を行い、最後に現地視察として市内関係地に議会の車でご案内いただきます。全国の先進事例を視察しますので、回数を重ねる程に私たちの情報量も増大し、時には視察先の職員からこちらの指摘を喜ばれることもあります。視察項目に「重要伝統建造物」を入れ、川越の歴史と伝統保存にも力をいれています。

研究研修費とは・・・研究会、研修会を主催する場合や参加する場合の経費として支出します。主催する場合は主に会場費等です。

参加する場合は、主に会費、交通費等ですが、政治資金パーティや酒食を共にする会合や個人的な資格で参加する団体の会費としては支出できません。

日本共産党議員団

日本共産党は、政務調査費については「領収書の全面公開こそ住民監視によつて政務調査費の使途を正していく最大の保証である。住民の目線を基準にして、批判と議論の相互作用のなかで正されていくのが、地方自治のあるべき姿である」という立場をとっています。

平成十九年度は、議会の様子を市民に広く知らせることを重視しました。所属する四名の議員全員が、毎議会一般質問などで積極的な提案や論戦をおこない、議会報告を発行(年四回)してその様子を報告しています。

また、選挙を経て議員団の顔ぶれが新しくなったので、ホームページをリニューアルしました。

(<http://jcp-kawagoe.jp/>)

人件費に計上されているのは、政策研究をサポートするパートタイマーの事務職員の給与です。ホームページの更新や、資料のとりまとめ、議員の行動予定の調整など、議員団の活動を支えています。

調査研究費

とは・・・市内や市外調査として他市等の先進的施策を視察する場合の経費として支出します。主に交通費、宿泊代、日当、資料等の購入費等ですが、車の維持費、修理費、食事先等への移動費用には支出できません。なお旅費は「議会の議員の報酬等に関する条例」の例により算出します。

政務調査費収支報告

1. 収入 3,521,192 ※利息含

2. 支出

科目	金額(円)	割合(%)
研究研修費	171,780	5.0
調査研究費	93,950	2.7
資料作成費	16,377	0.5
資料購入費	518,797	14.9
広報広聴費	2,235,387	64.3
人件費	439,200	12.6
合計	3,475,491	100.0

3. 残額 45,701 (返還)

研究研修費は主に、自治体問題研究所が主催する自治体学校や自治体理論セミナーに参加したものです。全国各地の先進的な取り組みなどを学び、その成果を市民生活向上のために生かしています。

調査研究費は主として、公共事業のあり方について、先進市を視察したものです。

平成十九年度は、議会報告会を開催しました。今後は、より多くの市民とたくさん意見交流ができるように、開催回数を増やしていきたいと考えています。